

# 教団新報

定価 1部150円(本体137円+共214円)  
予約購読料 1年分 7共 5,350円  
紙代のみ 3,750円  
振替 00140—9—145275  
本紙を購読ご希望の方は、前金を  
そえて、お近くのキリスト教書店  
へお申し込み下さい。  
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546  
FAX03(3207)3918  
URL http://uccj.org  
発行人 秋山 徹  
編集主筆 嶋田 恵悟  
印刷所 株式会社きかんし



一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。二人も、道で起こったことや、パンを裂いてくださったときにイエスだと分かった次第を話した。

(ルカ24・30～35節)

八雲教会(北海教区)

ルカ福音書24章で、二人の弟子がエルサレムからエマオへの道を重い足取りで歩いていて、そこに復活のイエスが現われ、彼らに語りかけたのですが、それがイエスだとは気付きませんでした。失望と落胆のために彼らの目が遮られていたのでしょう。

## イースター メッセージ

### 心が燃えていたではないか

ルカによる福音書24章13～35節



渡辺兵衛

#### 芥川龍之介最後の言葉

芥川龍之介の絶筆とされる『続西方の人』の末尾に、「彼の一生はいつも我々を動かすであろう。……我々はエマオの旅びとたちのように我々の心を燃え上がらせるクリストを求めずにはいられないであろう」と記されている。これが最後の言葉となっています。芥川龍之介は、ルカによる福音書の復活したキリストの姿に最後まで心をとらえられていた人だったことがわかります。関口安義著『芥川龍之介』(岩波新書)には死

まず『聖書』を閉じる。……午前二時になり、妻と三男也寸志の寝ている一階の部屋の床に『聖書』を持って入る。睡眠薬の

致死量はすでにのんでいた。枕元の電気スタンドの光で、彼は再び『聖書』を開く。しばらくして眠りについた。

心を打たれ、『我々の心を燃え上がらせるクリスト』と表現した。近づくキリストに最晩年の芥川は出会い、心を燃やしている」と述べています。このところを読んで、私は強く心を動かされました。ある人たちからは「敗北者」のように見なされている芥川龍之介が、死の直前まで、キリストとの出会いによって

心は燃え上がらせられるのを必死に求めていたことが伝わってきます。そして関口氏の指摘の通り、そのことがついに成し遂げられ、安らかな心境にされて死を迎えている姿を感じ取ることができます。さらに、このことを誰かに伝えずにはおられない思いをもって、上記の最後の言葉を書いたのだと思います。

#### 復活のイエスと出会う

また二人はこの日の朝、女性たちが墓で「イエスは生きておられる」と天使たちに告げられたとの驚くべき知らせを聞いたはずなのに、その言葉も起こらないという現実が現われています。出来事が起こったのは、三人一緒にエマオに着いて、食事を共にしていた時のことでした。復活のイエスがパンを取って彼らに渡したとき、二人は「瞬だけイエス様だ!」と気付かされ、それ

れでイエスの姿は消えてしまいました。このとき二人は、道の途上でイエスの語る言葉を聴いていた時に「心が燃えていたではないか」と共通の経験をかち合っています。復活のイエスの姿は一瞬にして消

#### 牧師として新しい出発

「心が燃える」という経験は私たちにも起こることです。私は今「あの時」のことを思い起こしています。牧師になって十年経って、偶然手にしたあの冊子で、青年時代に目を

をかけていただいたK牧師の説教を読んで衝撃を覚え、直接説教を聴きたいと思って大阪の教会まで行きました。K先生は私たち夫婦の突然の訪問を殊のほか喜ばれ、礼拝後昼食をごちそうしてく

#### 心を燃やし続ける

それから二十数年を経て、あの時のことを振り返っています。私は今朝起きて窓のカーテンを開けて、空を見ながら数十人の人たちのためにと祈りなすの祈りをしています。特に困難状況にあ

る人やこれまで親交のあった大切な人たちの名前を見ながら、「今日も一日、あなたが共にいてください」と祈るひとは、あの時私の心を燃やしてくれただけで、今も消すことなく燃やし続けているということになるだろうと思っています。

そして自らやってみてわかりますが、誰のためか、誰のために祈っているかは、家族にも知られたくない牧師の秘密です。K先生がリストを見せたくれたのは、余程のことだったと思われまふ。これが牧師にとってすべての働き

の根拠だということを、私に伝えようとしたのだらうと、今になってふり返っています。私も恩師のK牧師から受けたことを誰かに受け継いでほしいと願っているものです。芥川龍之介もあの最後の言葉を次の世代の人たちに言い残したいの思いで書いたのではないかと想像しています。

(八雲教会牧師)







## 「新型コロナウイルス感染症に伴う注意喚起について」(第二信)

日本基督教団 各教区 各教会・伝道所  
関連施設(付属幼稚園 保育園 センターなど)の皆さまへ

2020 年 3 月 27 日

日本基督教団 総会議長 石橋秀雄  
総幹事 秋山 徹

新型コロナウイルスによる感染の拡大は収まる様子がありません。

教会によっては、礼拝を中止しているところがあるとも聞いています。教会・伝道所、地区(支区 分区)では、「定期総会」の時期にあたり、延期するなどの検討を始めているとも聞いています。

そこで改めて、教団としての方針をお伝えしたいと思います。

- (1)教会活動の基本は、毎主日の礼拝です。しかし専門家によれば、礼拝は「感染リスクの高い環境」であることを認識する必要があることに変わりはありません。そこで、礼拝をささげる場合は、礼拝時間の短縮や換気の徹底など、可能な限り感染のリスクを減らす対策を必ず取るようにしてください。
- (2)教会が礼拝をささげない(中止する)ということはありません。礼拝は集会でもイベントでもないからです。たとえ礼拝堂に集うことがなくとも、「教会は礼拝をささげる」ということを大切にしてください。
- (3)現実的には、各教会・伝道所の判断が優先されますが、いうまでもなく、「祈り」をもって慎重にご判断ください。
- (4)感染リスクが高くなるのは「換気の悪い密室空間」「多くの人が密集した場所」「近距離(手を伸ばしたら届く距離)での会話や発声」です。これらの条件が重なる場合は、礼拝堂での礼拝を中止することも検討してください。
- (5)ご高齢の方、重症化しやすいリスク(基礎疾患)を抱えている方へは、十分な配慮をしてください。礼拝出席の自粛を申し出られた場合は、祈りと配慮とを忘れないでいましょう。場合によっては、自宅礼拝をお勧めし、教会の礼拝に自宅で心を合わせていただくということも必要であると思います。

(6)感染に対する危機意識をもちつつも、いたずらに感染を恐れて、互いに、自分の意見を主張し合うようなことは慎みましょう。とくに、差別的な言動を生じてはなりません。

(7)現在、教団では、各種委員会以外の、全国の広い地域から出席者が集う集会は、原則中止していますが、感染状況や人数などの状況によっては委員会レベルも中止することを検討します。\*Skype会議なども推奨します。

(8)教会・伝道所の総会や教区(支区・地区・分区)の総会などの開催については、慎重に判断してください。開催しない場合の対応に迷われたときは、教団事務局にご相談ください。

日本基督教団は「日本基督教団信仰告白」を告白し、「教憲教規」を守ることを以外は、各人と各個教会・伝道所による“自由な証し”を大切にきて来しました。その信仰を、このたびの感染対策にも生かしたいと思います。一人ひとりが、諸教会・伝道所が、諸教区(支区 地区 分区)が、神に向かって真摯に祈り、最も良い答えを見出させていただき、この“試練の時”をご一緒に乗り越えたいと願います。

## 《新型コロナウイルス感染に対する取り組み例》

## A教会

- \*主日礼拝は、どのような形にしろ、休止しない。
- \*礼拝プログラムの短縮(讃美歌を歌う回数などを少なくする)
- \*聖餐式を取りやめる。
- \*讃美歌は起立しないで、小さな声で賛美する。
- \*間隔を空けて着席する。
- \*礼拝出席者でコロナウイルスの感染が判明したら、その情報を公開する。

## B教会

- \*み言葉に仕える教会としての使命はこの時に

こそあるため、実施形態はともかく礼拝の「中止」の判断はしない。

\*会堂の入り口にアルコール消毒設置や会堂内の除菌&消毒を行う。

\*欠席者(欠席希望者)への説教原稿の送付(送信)

\*SNSの利用による教会の情報の発信。

\*高齢者・基礎疾患を持つ方々、感染リスクの疑いがある方々への声掛けの実施

## C教会

\*発熱 咳のときは欠席して自宅で祈る。

\*教会に着いたら、石けんで手を洗う。

\*できたらマスクを着用する。

\*集会での飲食は控える。

\*集会にはマイボトルを持参し、座席に余裕を持って座る。

\*礼拝出席は各自の判断に任せるが、高齢者、公共交通機関利用者には、慎重な判断を呼び掛ける。

## D教会

\*報道に惑わされず冷静さと神様の導きを信頼し福音の示すところに立ち、ひずみを負わされる弱者を覚え、キリスト者の祈りと行動を考える。

\*礼拝中の讃美歌は奏楽に耳を傾けて黙想し、祈祷と詩編交読は、司式者のみにする。

\*子どもの教会(教会学校)はお休み。各委員会もお休み。

\*高齢者、子どものいる家庭、健康に不安のある方、公共交通機関を利用する方、感染症リスクのある方には、金曜日に週報を配り、土曜日に、再度、「礼拝出席をお控えいただく」と伝え、主日礼拝説教の原稿を届けて、自宅での礼拝を勧める。

◇この他にも、換気に注意しながらささげる、礼拝のネット中継、ユーチューブなどによる動画配信(\*この場合は讃美歌の著作権に注意する)など、様々な工夫している教会があります。HPなどを検索してご覧ください。

◇現在、礼拝施設(礼拝堂)での礼拝を休止している教会もあります。

\*なお、教区総会の持ち方などについては、教団ホームページをご覧ください。



松澤 郁子さん

魂に沁み込んだ  
信仰の言葉

新発田教会員。教会の子どもたちと若者たちのために祈り続ける

教会付属の幼稚園で幼い時から、神さまの御手の中に迎えられる。その信仰は、衆議院議員であり弁護士として超多忙な父の、日曜日は必ず礼拝に出席するという後ろ姿を見て成長した。

戦後間もない頃、青年たちとの熱い交わりの中で洗礼を決定、今年のペンテコステで受洗73年目だ。

女学校を卒業後、歯科医になる志が与えられ、地元新発田の歯科医院に勤務した。そこは朝から市が立つほど賑わう場所、ひっきりなしに多くの患者が訪れ、現役を退いた今でも、「先生は優しくかった」と、衣料品店の店主や、食品店の家族などが、郁子さ

夫と共に新発田教会に転入し、新発田教会の礼拝生活が始まった。忙しい日常の中にも、夫と毎日、「日々の糧」

を讀み、祈りを合わせた。詩篇23篇「エホバはわが牧者なり われ乏しきことあらじ」。どんな時にも、牧者であるイエスさまに守られ導かれて来た。

執事として、また教会学校の教師として活躍した。子どもたちとの触れ合いは何よりも楽しかった。

ご自身が幼稚園の園児時代に、先生からたくさんのお讃美歌を習った。それは貴い、恵みの時間だった。その讃美歌が今でも生活の中で口づいて出て来る。それは魂に沁み込んだ信仰の言葉となって、平安と希望を与えてくれる。

中国湖北省武漢市から広がった新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、今やアジアだけでなくアメリカもヨーロッパもパンデミックの様相を呈し、非常事態になってきた。東京オリンピックも1年延期に。すべての社会が対応に追われる。混乱と不安は教会をも直撃して、礼拝やすべての集いを休止のころも。

教会の集まりは、狭い空間に人と人が近い距離で、互いに挨拶を交わし、賛美を高らかに歌う。警戒体制を取らなければならぬのは当然。このような状況に即して教会は新たなメッ

新型コロナウイルス  
感染症  
感染症

セージを発信する必要がある。今までの間に、ここ暫くの期間、緊急の場合を除いて教団・教区レベルの委員会や集いはキャンセルまたは延期、今後予定されている各教区総会、教団総会開催も課題となる。

このような疫病によるパンデミックの現実に向面する時、キリスト者の存在が疫病に例えられたことがあったことを思い出す。使徒言行録にはパウロのことを「この男は疫病のような人

(教団総幹事 秋山 徹)